

さらさら

2024年3月10日

加古歯科医院

〒478-0053 知多市清水ヶ丘 1-1801

tel(0562)33-4180

fax(0562)33-4188

Quality of your life 心も身体も心地よく
<http://www.saradent.com/>



想像する心

歯科医師 近藤佑亮

皆様こんにちは。寒さの中にも春の気配を感じる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。

突然ではありますが、当院の理事長が診療理念として掲げている「如己愛人」のホスピタリティ溢れる歯科医院というテーマをご存知ですか（詳しくは当院ホームページをご覧ください）。ホスピタリティ深い思いやりと訳されることもありまして、今回は「思いやり」というテーマで、私なりに思いやりとはなにかを考え、思いやりとは自分とは異なる環境や境遇の場合にも、いかに相手の立場になって想像できるかだと私は思います。

最近そう思った出来事のひとつとして、私は朝ラジオを聴いて通勤することがあり、その中で「今起きた人、通勤途中の人、仕事の準備している人、夜勤明けの人、通学・通園途中の人、家事育児を頑張っている人、今日もそれぞれの事情の中で頑張っている」と呼びかけるフレーズがあります。さまざまな環境の中でラジオを聴いている一人一人に向けてエールを送るために相手を想像して呼びかけをしており、思いやりの気持ちを感じました。

私たちが日々の診療中には、患者様の些細な表情や仕草に気を配り、一人一人に向けた対応や声かけができればと思っております。また病気等にて通院困難となった方や育児や仕事で忙しい方など、さまざまな環境の方にも治療を受けて頂けるよう、自宅や施設に伺う訪問治療、保育士による無料託児サービス、火・木曜日の昼休憩時（十二時～十四時）の診療なども行っております。思いやりの気持ちで大切に皆様をお待ちしておりますのでお困りの際はお気軽にご相談下さい。

かわいい思いやり

保育士 木村香織

加古歯科医院で保育士をさせて頂いてから約十年、たくさんのかわいい子ども達との出会いがありました。いつも楽しみに加古歯科医院に来てくれる子。初めは泣いていたけれど今ではニコニコで来てくれる子。そんな子ども達とママ達にも会えるのを楽しみに日々過ごしています。でも、ママと離れて寂しくて泣いてしまう子を預かる時は私も心がギョツとなります。そんな中、きょうだいを預かる機会もあり、まだ自分も小さくて寂しいはずなのに涙をこらえて『にいにいるから大丈夫だよ』と弟をギョツと抱きしめてあげる姿には、なんともいえない気持ちになります。小さいなりに頑張ってお兄ちゃん、お姉ちゃんをされている優しさや強さを感じ、弟や妹ながらに兄や姉に想いをよせて、言葉だけでなく心で思いやる姿を日々感じさせてくれる子ども達には心を打たれ、私の頑張ろうという原動力になっています。そんな小さくてかわいい天使のような思いを大切に守れるよう、これからも笑顔で子ども達を待っています。



事務 藪井奈央

少しずつ暖かくなり春らしさを感じられる頃となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？さて、今回のさらさらは「思いやり」がテーマです。まず思いやりとは何なのか、改めて調べてみました。すると、他人の気持ちに配慮し、相手が何を望みどんな気持ちかを注意深く考え、接すること。相手の身になって考えたり、推察して気遣いをしたりすることを意味する言葉。と出てきました。

私は、以前は主に受付業務に携わらせて頂いておりました。その時意識して行っていた事は、さまざまな不安を抱えてご来院いただく患者さまを一番に迎えるのは受付であり、少しでも患者さまに安心感を与えられるよう、笑顔で出迎え「おはようございます、す！」と患者さまより先に挨拶をする事を日々心がけておりました。受付業務を離れた後でも、待合室でたまに患者さまから「あら、あなたお久しぶりね！」などと私の顔を覚えてくださる声をかけてくださる方もいらつしやうと嬉しく思います。現在は、現在の事務として、裏方のお仕事や電話対応などを主に受け持つております。電話対応では、第一声の声のトーンが低くならないよう気をつけたり、ご高齢の方にはなるべく聞き取りやすいように、ゆっくりはっきりと話すようにし、患者さまに合わせた対応を意識しています。また聞き取り間違いが無いように、内容を復唱し患者さまのお困りの声、ご要望を正確に伝達することを心がけております。どの部署に従事しても共通している事は、患者さまの気持ちに寄り添い、その立場に立つて、自分だったらどう思うかを意識している事が加古歯科医院における「思いやり」だと思います。

まだまだ至らない点もありますが、ご指導ご鞭撻をいただきながら、ワンランク上のホスピタリティをご提供できよう日々精進を重ねていきたいと思っております。



歯科衛生士 山口奈緒

私が歯科衛生士となってから診療中に大切にしている事の一つとして、今回のテーマの思いやりがあります。歯科医院に通う理由として、お口の中の痛みなどによる不快感を取り除く為、または予防的に口腔内を安定した状態で保つ為、など様々な理由があると思います。しかし、通いたいと思っても歯科医院を想像すると身体的、精神的な苦痛を思い浮かべる方は多くいらっしゃると思います。私自身も幼い頃は何か嫌な事をされた訳ではありませんが、嫌なイメージを抱いており、歯科医院が嫌いでした。そんな中、足を運んでくださる患者様の気持ちを少しでも和らげる事が出来たらいいと思います。そこで思いやりのある言葉、行動で恐怖心無く気軽に歯科医院に足を運んで頂けるのではないかと思います。その中で自分のできる事は何かと日々考えています。それは自分自身が、言われて嬉しかった言葉、されて嬉しかった態度や行動を患者様に行う事が思いやりの第一歩になると思えました。まず、第一印象となる身だしなみや挨拶です。誰が見ても親しみやすい身だしなみを心がけ、挨拶から目を見て穏やかな雰囲気でも迎える事を意識しています。そして術中は、患者様への声かけです。患者様が無理をしないか確認し、施術前は次のような事を行うのかを説明してから、患者様が安心して施術を受けられる事に心掛けています。また、術後では必ず患者様の目をみて見送りをするようにしています。歯科医院は良くない固定概念が付きやすい場所である事を術者が十分理解し、患者様に『またこの歯科医院に足を運びたい』と思わして頂きたいです。また思いやりは第一に自分の心に余裕がないと、行おう事が出来ないと思えます。心の余裕を持って日々生活できるように心掛けたいと思っております。

